

# イスラエル株式ファンド

&lt;2789&gt;

追加型投信／海外／株式

満期償還 2024年6月21日償還

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、イスラエル企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

償還時	基準価額	14,749円29銭
	純資産総額	1,226百万円
償還期	騰落率	17.2%

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

◇TKU0278920240621◇

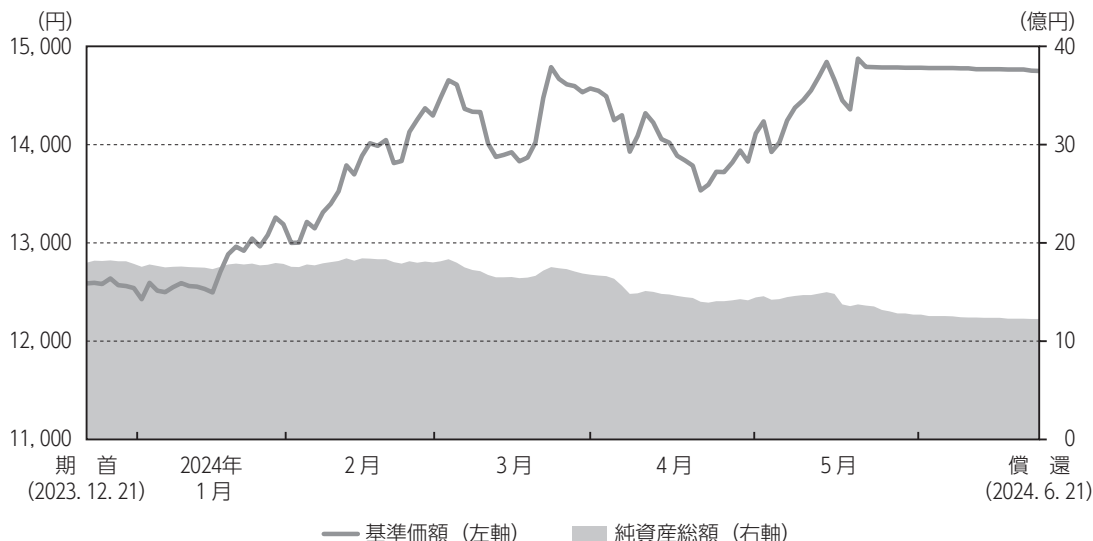
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ページ下方の「償還済みファンド(運用報告書)」を選択 → リストから当ファンドの「一覧」をクリック → 目的の運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



#### ■ 基準価額・騰落率

期首：12,589円

償還時：14,749円29銭

騰落率：17.2%

#### ■ 基準価額の主な変動要因

イスラエル株式市況が上昇したことや、イスラエル・シェケルが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 12. 22~2024. 6. 21)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	133円	0. 956%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13, 938円です。
(投 信 会 社)	(75)	(0. 537)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(56)	(0. 403)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0. 016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	5	0. 035	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(5)	(0. 035)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 001	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 001)	
そ の 他 費 用	37	0. 262	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(37)	(0. 262)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	175	1. 254	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

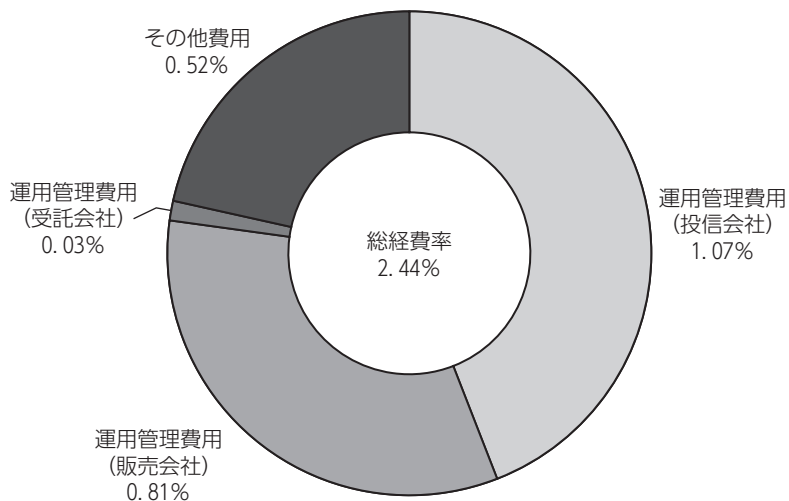
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.44%です。

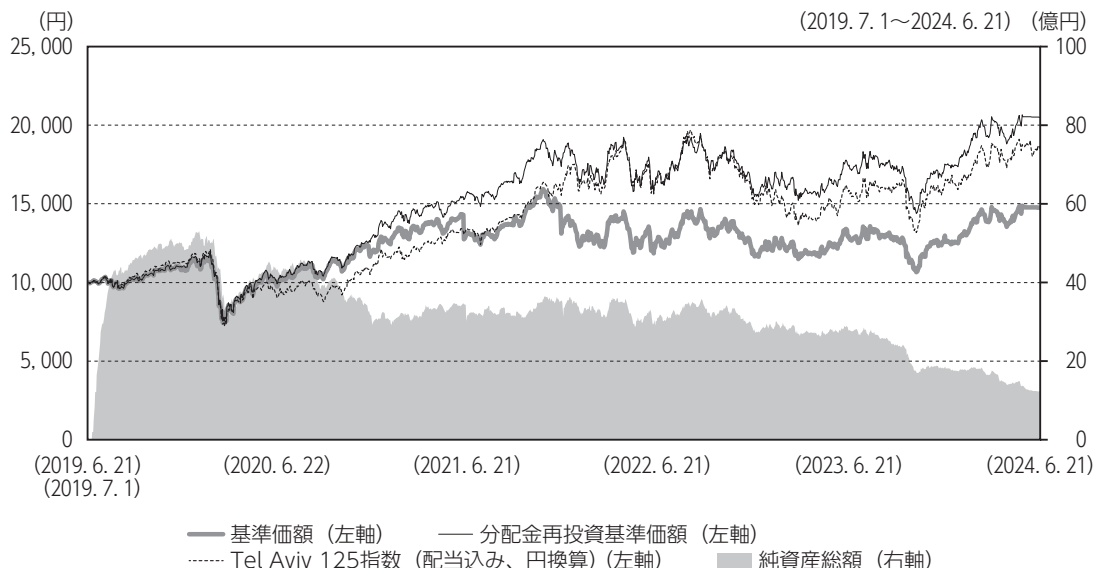


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 参考指数は、2019年7月1日を10,000として指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- \* 参考指数は Tel Aviv 125指数（配当込み、円換算）です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2019年7月1日 設定	2020年6月22日 決算日	2021年6月21日 決算日	2022年6月21日 決算日	2023年6月21日 決算日	2024年6月21日 償還時
基準価額 (円)	10,000	10,102	12,736	12,245	12,963	14,749.29
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	200	2,100	1,400	250	350
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	2.9	48.3	6.4	7.9	16.9
Tel Aviv 125指数 (配当込み、円換算) 騰落率 (%)	—	△5.2	37.7	24.0	△1.5	15.2
純資産総額 (百万円)	200	4,313	3,017	3,018	2,780	1,226

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) Tel Aviv 125指数 (配当込み、円換算) は、Tel Aviv 125指数 (配当込み、イスラエル・シケルベース) をもとに、大和アセットマネジメントが円換算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 設定以来の投資環境について

(2019. 7. 1 ~ 2024. 6. 21)

### ■イスラエル株式市況

イスラエル株式市況は上昇しました。

イスラエル株式市況は、当ファンド設定当初から2019年末にかけて、F R B（米国連邦準備制度理事会）が複数回利下げを行ったことや、年末にかけての米中通商協議の進展、英国のE U（欧州連合）離脱を巡る不透明感の後退が見られたことなどから、上昇しました。2020年前半は、新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な景気後退懸念から、株式市況は大きく下落しました。2020年後半から2021年末にかけては、各国での積極的な金融・財政政策や新型コロナウイルスのワクチン開発、経済活動の正常化への期待が支援材料となり、株式市況は上昇に転じました。2022年から2023年10月にかけては、世界的なインフレの進行によってイスラエルを含めた多くの国で積極的な金融政策の引き締めが行われたことや、ロシアのウクライナ侵攻による地政学リスクの高まりが相場の下押し材料となり、株式市況は下落基調で推移しました。また、ネタニヤフ政権下での司法制度改革を巡り、イスラエル国内で大規模なデモが発生したことも嫌気されました。2023年10月には、イスラム組織ハマスがイスラエルに対して奇襲攻撃を行ったことから、両者の間で大規模な紛争が発生したことを受けて、株式市況は一時大きく下落しました。11月から償還にかけては、欧米での金融政策転換への期待や世界的なA I（人工知能）関連製品に対する需要拡大への期待から、株式市況は反発しました。

### ■為替相場

イスラエル・シケルは対円で上昇しました。

当ファンド設定当初から2020年2月ごろまで、イスラエル・シケルは対円で上昇しました。米中関係や英国のE U（欧州連合）離脱を巡る不透明感が後退したことなどが要因となりました。3月には、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて世界的に景気後退懸念が高まり、イスラエル・シケルは対円で下落（円高）しました。しかしその後は、新型コロナウイルスのワクチン開発や経済活動の正常化への期待が支援材料となり、イスラエル・シケルは2022年後半にかけて堅調に推移しました。2022年後半から2023年10月にかけては、イスラエルを含む各国で積極的な金融政策の引き締めが行われ景気後退が懸念されたことや、ロシアのウクライナ侵攻による地政学リスクが高まったことなどから、イスラエル・シケルは対円で下落しました。イスラム組織ハマスがイスラエルに対して奇襲攻撃を行い、両者の間で大規模な紛争が発生したことも、イスラエル・シケルの下落要因となりました。11月から償還にかけては、イスラエル・シケルは対円で上昇しました。欧米での金融政策転換への期待がイスラエル・シケルを下支えました。また日銀は大規模な金融緩和を修正したものの、緩和的な金融政策が維持されるとの見方が円安要因となりました。

## 信託期間中の運用方針

イスラエル企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

成長性の高いテクノロジー関連銘柄と良好な人口動態から恩恵を受ける内需系の安定した消費関連銘柄のバランスが取れたポートフォリオを維持してまいります。

## 信託期間中のポートフォリオについて

(2019. 7. 1 ~ 2024. 6. 21)

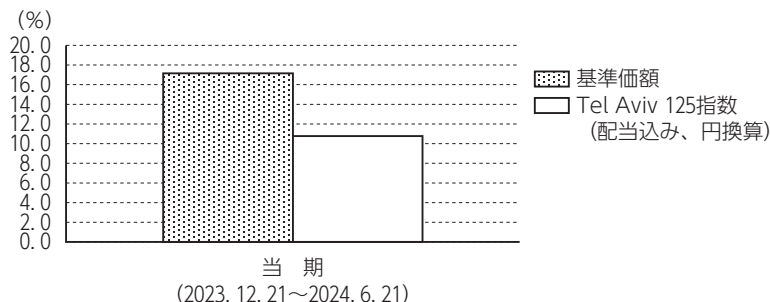
当ファンドは、外貨建資産の運用にあたっては、アバディーン・インベストメンツ・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託しておりました。

株式組入比率は、高位に維持しました。銘柄選定にあたっては、徹底したボトムアップアプローチに基づき、財務体質が良好で、良質なビジネスを有する確信度が高い銘柄へ厳選投資しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

1万口当り、第1期200円、第3期700円、第4期～第5期各1,400円、第8期250円、第9期350円の収益分配を行いました。

なお、第2期、第6期～第7期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を行いませんでした。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



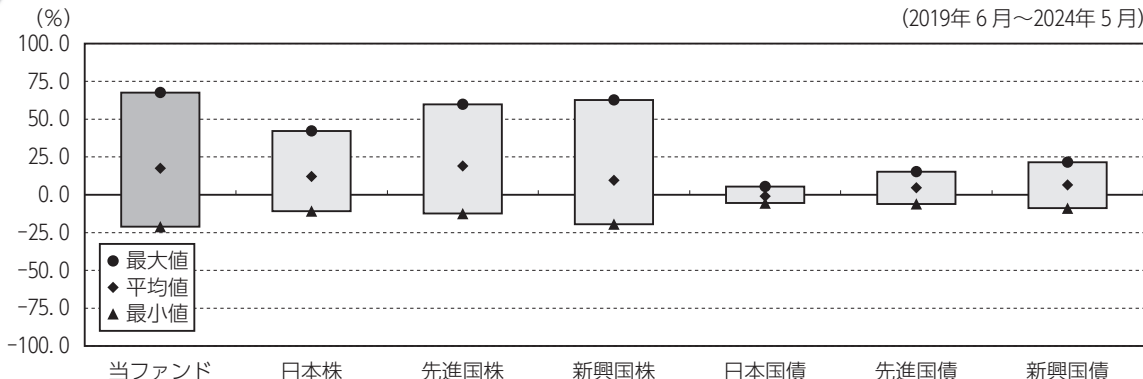


## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2019年7月1日～2024年6月21日
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	<p>イ．イスラエル企業の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）および店頭登録株式（登録予定を含みます。）</p> <p>ロ．イスラエル企業のDR（預託証券）</p> <p>※当ファンドにおけるイスラエル企業とは、以下の企業をいいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i．イスラエルの金融商品取引所に上場している企業</li> <li>ii．イスラエルに本社を置いている企業／イスラエルに登録している企業</li> <li>iii．その他イスラエルと密接な関係を持つ企業</li> </ul>
運用方法	<p>①主として、イスラエル企業の株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行いません。</p> <p>※イスラエルの金融商品取引所に上場しているリート（不動産投資信託証券）およびイスラエルの株価指数に連動するETF（上場投資信託証券）に投資することがあります。</p> <p>②株式への投資にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ．20～40銘柄程度に厳選投資します。</li> <li>ロ．銘柄選定にあたっては、以下の2段階の分析を行ないポートフォリオを構築します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>i．ビジネスモデルや収益の質・構造・持続性といった「企業の質」に着目した分析を行いません。</li> <li>ii．PERやPBR等の「バリュエーション」指標に着目した分析を行いません。</li> </ul> </li> </ul> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、アパディーン・インベストメンツ・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。</p> <p>④株式、リートおよびETFの組入比率の合計は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。



# 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	67.6	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
平均値	17.5	12.1	19.0	9.5	△ 1.0	4.7	6.6
最小値	△ 21.1	△ 10.8	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる商標または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる商標または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

### 純資産等

項 目	償 還 時
	2024年6月21日
純資産総額	1,226,596,179円
受益権総口数	831,630,721口
1万口当り基準価額	14,749円29銭

\* 当期中における追加設定元本額は26,832,192円、同解約元本額は624,125,354円です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。